

生活
社会
暮らし
を守る

ためには...?

人口減少社会
高齢化

自然環境



INS 起業化研究会 in 八戸工業大学

SDGsを学んで北東北の未来を考える

●●●●● 4人の専門家が国内外におけるSDGsの取り組みについてお話し ●●●●●



山田 浩貴
JST* 経営企画部
持続可能な社会推進室 調査役



嶋瀬 俊太郎
JST* 「科学と社会」推進部
調査役



佐藤 利雄
JST* 産学連携展開部
マッチングプランナー



横溝 賢
八戸工業大学
創生デザイン学科 准教授

*JST：国立研究開発法人科学技術振興機構



人口減少

自然災害予測
→防災・減災

インフラ整備

構造物の長寿命化・延命化

SDGs(持続可能な開発目標)とは?

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。



2019
3.18

Monday

会場：八戸工業大学
感性デザイン棟3階
KDプラザ

市民とどうコミュニケーション
するか?



豊かな生活を築き
日々を営む



私立大学研究ブランディング事業
www.arch-pj.net

SDGsを学んで北東北の未来を考える。

人口減少により地域経済が縮小し、インフラなどの生活基盤の維持が難しくなっていくなか、産学官民が互いに協力して地域の課題を解決していく、あらたな枠組みが必要とされています。

SDGsは、地域の持続可能性を実現するための到達目標として、

地域のみならず課題解決の協働を推進するための共通ビジョンとして注目されています。

このセミナーでは、国立研究開発法人科学技術振興機構のSDGs調査役（リサーチャー）をお呼びし、国内外において取り組まれているSDGs推進事業についてお話いただきます。



講演プログラム

15:00 開会

15:10 講演① STI for SDGsの推進—国内外の動向とJSTの取り組み—

講師：国立研究開発法人科学技術振興機構 調査役 山田 浩貴, 嶋瀬 俊太郎

16:00 休憩

16:05 講演② INS起業化研究会について ~産学官連携と後継者育成~

講師：国立研究開発法人科学技術振興機構産学連携展開部 地域イノベーショングループ
マッチングプランナー, INS起業化研究会代表幹事 佐藤 利雄

16:30 講演③ 八戸工業大学におけるSDGs地域連携の取り組みについて

講師：八戸工業大学 感性デザイン学部 創生デザイン学科 准教授 横溝 賢

16:55 閉会

講師紹介



山田 浩貴 国立研究開発法人科学技術振興機構 経営企画部 持続可能な社会推進室 調査役

国内IT企業等で従事した後、2007年JSTに入構。以降、産学連携、経営企画、国際業務などに従事。2015年12月から2018年3月まで文部科学省科学技術・学術政策局に出向し、科学技術・学術戦略官（国際担当）付企画官として日本と各国・地域との科学技術協力の推進に従事。2018年4月より現職。英国サセックス大学大学院科学技術政策研究所（SPRU）修了。



嶋瀬 俊太郎 国立研究開発法人科学技術振興機構 「科学と社会」推進部 調査役

1995年JSTの前身であるJICSTに入構。以降、科学技術理解増進、科学技術情報基盤構築、経営企画などに従事。2017年7月より現職。科学技術イノベーションを通じて未来の産業を創造し持続可能な未来社会を構築することを目的として、様々なステークホルダーが双方で対話・協働し、その成果を研究開発戦略等へと結びつける「共創」を推進する仕組みの構築等を行っている。



佐藤 利雄 国立研究開発法人科学技術振興機構 産学連携展開部 マッチングプランナー

岩手県花巻市生まれ。(株)富士電機総合研究所(横須賀市)に勤務したのち1996年に産能短大通信教育部(中小企業診断士コース)卒業。同年より花巻市技術振興協会勤務。花巻市起業化支援センター派遣。1999年産能大学通信教育部経営情報学部経営情報学科卒業。2010年より5年間岩手大学地域連携推進センター産学官連携コーディネーターを勤めたのち、現職。

【参加費】 無料

【主催】 INS起業化研究会, 八戸工業大学

【共催】 八戸工業高等専門学校, 八戸学院大学, 八戸学院大学短期大学部

【定員】 50名

【事前参加申し込み】 3月11日(月)までに下記のメールアドレス宛に参加申し込みのメールをお送りください。

八戸工業大学 社会連携学術推進室 (kaikaku@hi-tech.ac.jp)